

エコアクション21 環境経営レポート

活動期間 2023年10月1日～2024年9月30日



2025年 2月 3日

第9版 発行



有限会社 福永建設

〒782-0014 高知県香美市土佐山田町小田島271番

TEL : 0887-53-5453

FAX : 0887-53-5473

目 次

1. 組織の概要	P.1
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、 レポートの対象期間及び発行日	P.2
3. 環境経営方針	P.3
4. 環境管理組織体制	P.4
5. 環境経営活動への取組の全体概要	P.5
6. 環境経営目標	P.6
7. 環境経営計画	P.7
8. 環境経営目標の実績	P.8
9. 環境経営計画の取組結果とその評価	P.9～18
10. 次年度の取組み内容 (1)環境経営目標(2)環境経営計画	P.19・20
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P.21
12. 代表者による全体評価と見直しの結果	P.22
13. その他の取組み	P.23

発行日：2025年 2月 3日

発行責任者：環境管理責任者 福永敦之

次回発行予定：2026年 1月 頃

～エコアクション21～

1. 組織の概要

【事業所名】 有限会社 福永建設

【代表者氏名】 代表取締役 福永義治

【事業所在地】 本社 〒782-0014 高知県香美市土佐山田町小田島271番

【付属施設】 倉庫機材置場 〒782-0014 高知県香美市土佐山田町小田島270番

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者 福永 敦之
連絡先担当者 沼 達彦
連絡先 TEL: 0887-53-5453
FAX: 0887-53-5473
E-mail: numatatsu_8787@yahoo.co.jp

【事業内容】 道路及び道路施設工事、造成工事、コンクリート構造物築造工事、水路等据付・築造工事
上下水道工事、木造・コンクリート造解体工事を施工。公共工事、民間工事も行っています。

建設業許可 特定建設業
許可番号 高知県知事 許可（特-6）第7149号
許可年月日 令和6年9月25日
建設業の種類 土木工事業 とび・土工工事業 舗装工事業 石工事業 鋼構造物工事業
しゅんせつ工事業 塗装工事業 水道施設工事業 解体工事業

【事業規模】 設立年月日 平成5年4月設立
資本金 2000万円
会計年度 10月～翌年9月事業決算

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
完成工事高		398百万円	463百万円	397百万円	319百万円	225百万円
従業員数		15人	13人	12人	10人	12人
事業所敷地面積	本社	250m ²	250m ²	250m ²	250m ²	250m ²
	倉庫機材置場	454m ²	454m ²	454m ²	454m ²	454m ²
事業所延べ床面積	本社	140m ²	140m ²	140m ²	140m ²	140m ²
	倉庫機材置場	250m ²	250m ²	250m ²	250m ²	250m ²

2024年9月末時点

～エコアクション21～



2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

有限会社 福永建設 （全組織 全活動）

本社 〒782-0014 高知県香美市土佐山田町小田島271番
倉庫機材置場 〒782-0014 高知県香美市土佐山田町小田島270番

【レポートの対象期間】

2023年10月1日～2024年9月30日 （1年間）

【環境経営レポートの発行日】

2025年2月3日 発行

【作成責任者】

環境管理責任者 福永 敦之



～エコアクション21～

3. 環境経営方針

【環境経営理念】

有限会社福永建設は、高知県香美市を主体に土木工事を行っている建設業です。建設工事に於いて環境負荷低減目的の環境保全活動がグローバルな環境保全に繋がることを意識して、継続的な改善による環境経営を推進することにより、次代に豊かな自然を引継げるよう事業活動を行います。

【基本方針】

1. 建設工事における、設計・資材調達・施工・廃棄物処理の各段階において、環境負荷の少ない事業活動を行います。
2. トラック・重機・車輛の燃料使用量削減により、二酸化炭素排出量を削減します。
3. 事務所・現場における電力使用量の削減により、二酸化炭素排出量を削減します。
4. 建設工事及び事務所における廃棄物発生量の削減及びリサイクルを行います。
5. 事務所における水使用量の削減により排水量を削減します。
6. 建設現場における化学物質排出について配慮します。
7. 環境関連法規及び条例等を遵守します。
8. 環境経営方針は広く従業員に周知徹底します。
9. 環境経営レポート等環境情報について広く外部公表いたします。

改訂日： 2024年 5月1日



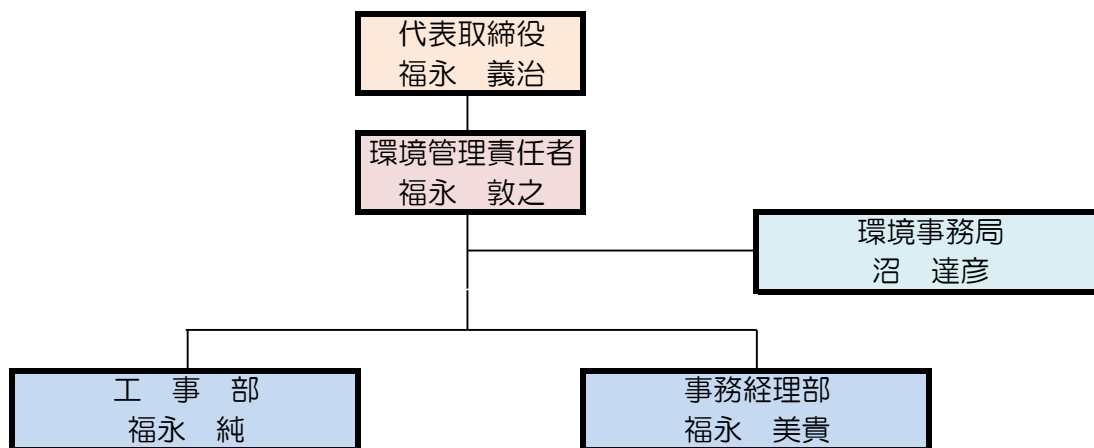
有限会社 福永建設

代表取締役

福永 義浩

～エコアクション21～

4. 環境管理組織体制



環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表取締役	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 - 環境経営目標、環境経営計画、環境管理組織体制の承認 - 代表者による全体評価と見直し実施 - 環境経営レポートの承認 - 経営における課題とチャンスの明確化の制定
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 - 環境経営目標、環境経営計画、環境管理組織体制の確認 - 環境経営の取組結果を代表者へ報告 - 環境経営レポートの確認
環境事務局	- 環境管理責任者の補佐、E A 2 1 委員会の事務局 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 - 環境経営目標、環境経営計画、環境管理組織体制原案の作成 - 環境経営の実績集計 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの作成、公開
部門長	- 自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 - 自部門に係る環境経営計画の実施、達成状況報告 - 自部門に係る緊急事態訓練の実施 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

～エコアクション21～

5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション21ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境経営目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

<全体概況>

○電力使用量については、環境経営目標に対して大幅な減少が見られました。

この結果、二酸化炭素排出量目標値に対して削減ができました。

○燃料使用量についても減少傾向にあり、更なる削減目指し省エネ型車両及び重機の導入を推進しています。

○環境美化活動についても、本年度は、ロードボランティア活動（毎月1回）、清掃活動（年2回）実施しております。



<有限会社福永建設の物質フロー>（2023年度）

<INPUT>

燃料29,457L

電力3,936kWh

用水22m³

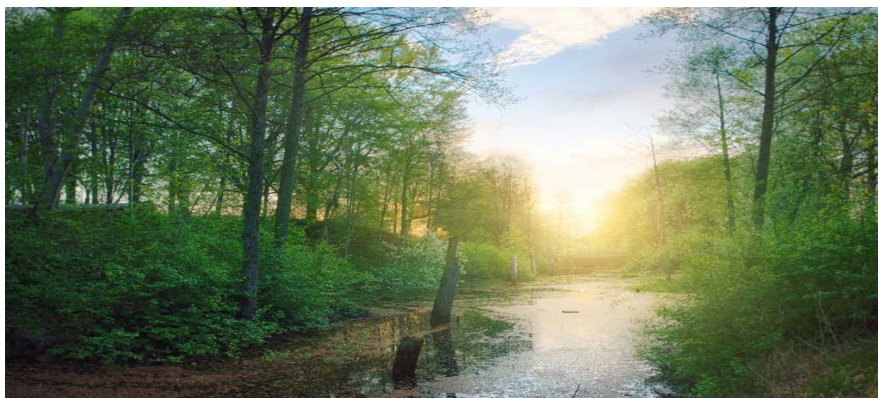
有限会社福永建設
の事業活動

<OUTPUT>

CO₂ 77,501 kg-CO₂

排水 22m³

廃棄物 342 t



～エコアクション21～

6. 環境経営目標

(2023年度) 2023年10月～2024年9月
 <原単位目標>

(1) 単年度目標

項目	単位	2017年度 実績（基準年） 2017.10～2018.9	2023年度 目標 2023.10～2024.9
燃料(ガソリン)使用量	ℓ/百万円	21.45	10.00
燃料(軽油)使用量	ℓ/百万円	141.58	127.50
電力使用量	kWh/百万円	28.14	25.50
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /百万円	424.76	395.00
用水使用量	m ³ /百万円	0.15	0.10
一般廃棄物排出量	kg/百万円	0.27	0.21
産業廃棄物排出量	t/百万円	2.29	1.70
産業廃棄物再資源化率	%	99.60	99.90
環境負荷の少ない 工事件数	%	93.50 29/31件	100.00

*1. 購入電力におけるCO₂排出係数は平成29年12月21日公表の四国電力の
 調整後排出係数0.529kg-CO₂/kWhを使用した

*2. 環境負荷の少ない工事件数

- 環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用
- 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- 型枠、工事看板への間伐材の使用

*3. 化学物質（PRTR対象物質）について

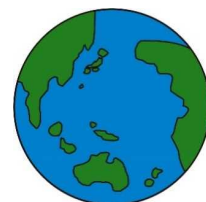
○当社では使用がない為、目標設定はしていません。

(2) 中長期目標

項目	単位	2017年度 実績（基準年） 2017.10～2018.9	2023年度 目標 2023.10～2024.9	2024年度 目標 2024.10～2025.9	2025年度 目標 2025.10～2026.9	2026年度 目標 2026.10～2027.9
燃料(ガソリン)使用量	ℓ/百万円	21.45	10.00	10.00	10.00	10.00
燃料(軽油)使用量	ℓ/百万円	141.58	127.50	125.00	122.50	120.00
電力使用量	kWh/百万円	28.14	25.50	25.00	24.50	24.00
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /百万円	424.76	395.00	390.00	385.00	380.00
用水使用量	m ³ /百万円	0.15	0.10	0.10	0.10	0.10
一般廃棄物排出量	kg/百万円	0.27	0.21	0.20	0.19	0.18
産業廃棄物排出量	t/百万円	2.29	1.70	1.60	1.50	1.40
産業廃棄物再資源化率	%	99.60	99.90	99.95	100.00	100.00
環境負荷の少ない 工事件数	%	93.50 29/31件	100.00	100.00	100.00	100.00



～エコアクション21～

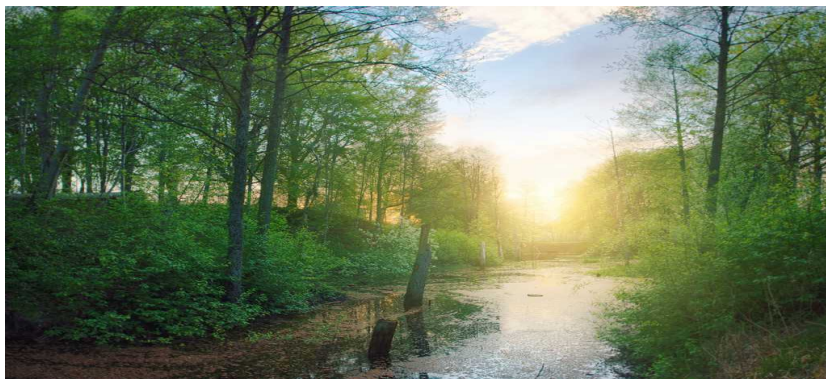


7. 環境経営計画

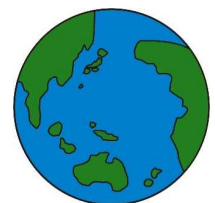
(2023年度)

期間： 2023年 10月 ～ 2024年 9月 1年間

項目		活動内容	担当者	期限
CO ₂ 排出量	燃料使用量	建設機械等の自主点検整備の実施	現場責任者	2024年9月30日
削減	削減	省エネ型重機及び車両への買替え使用検討	現場責任者	2024年9月30日
	電力使用量	保安灯の電源を太陽光ソーラーに変更していく	環境事務局	2024年9月30日
	削減	作業をしないときはスイッチオフにする	使用者	2024年9月30日
用水使用量削減		蛇口の開閉は確実に行う	使用者	2024年9月30日
		排水の有効活用	現場責任者	2024年9月30日
廃棄物削減	一般廃棄物	可能な限り両面印刷の実施	環境事務局	2024年9月30日
		現場での電池式保安灯の仕様変更	現場責任者	2024年9月30日
	産業廃棄物	梱包材、パレット材は資材業者に返却か、省く	現場責任者	2024年9月30日
		必要以上の資材、機材を発注しない	現場責任者	2024年9月30日
		現場責任者は現地での品質、出来形管理を密に行い、適正な資材数量と規格物を納入する	現場責任者	2024年9月30日
環境負荷の少ない工事実施		省エネ型重機及び車両を使用する	現場責任者	2024年9月30日
		環境負荷の少ない材料を使用する	現場責任者	2024年9月30日
		型枠、工事看板への間伐材の使用	現場責任者	2024年9月30日
地域・社会貢献活動		清掃・美観活動への積極参加	環境事務局	2024年9月30日
		交通工コ活動への継続参加	環境事務局	2024年9月30日



~エコアクション21~



8. 環境経営目標の実績

【2023年度】

環境経営目標の実績

【本年度実績】

項目	単位	基準年 2017年度 2017.10~2018.9	2023年度 目標 2023.10~2024.9	2023年度 実績 2023.10~2024.9	実績値/目標値 (%)	評価
燃料使用量						
ガソリン使用量	(ℓ/百万円)	21.45	10.00	9.92	99.20%	○
軽油使用量	(ℓ/百万円)	141.58	127.50	121.00	94.90%	○
電力使用量	(kWh/百万円)	28.14	25.50	17.49	68.59%	○
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂ /百万円)	424.76	395.00	344.45	87.20%	○
用水使用量	(m ³ /百万円)	0.15	0.10	0.10	100.00%	○
一般廃棄物排出量	(kg/百万円)	0.27	0.21	0.12	57.14%	○
産業廃棄物排出量	(t/百万円)	2.29	1.70	1.52	89.41%	○
産業廃棄物再資源化率	(%)	99.60	99.90	99.70	99.80%	×
環境負荷の少ない工事	(%)	93.50	100.00	100.00	100.00%	○

*1. 購入電力におけるCO₂排出係数は平成29年12月21日公表の四国電力の調整後排出係数0.529kg-CO₂/kWhを使用した

*2. 環境負荷の少ない工事件数

- 環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用
- 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- 型枠、工事看板への間伐材の使用

*3. 化学物質（PRTR対象物質）について

- 当社では使用がない為、目標設定はしておりません。

*4. 評価は、「○」、「×」で評価する。

＜環境経営目標未達成理由＞

産業廃棄物量は減少傾向にはあるが再生資源化率においては目標値達成が出来なかった。
現場から発生する産廃物に対しては100%ではあるが、資材機材納入時のプラスチック材、ビニール類等が原因と思われる。
現場責任者、従事者で計画目標を徹底して達成できるように努力していく。
解体工事での廃棄物処理も含まれるため再生資源化率100%は困難であり次年度より現実的な数値目標を設定する

＜過去の実績＞

項目	単位	2017年度 実績（基準年）	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績
燃料使用量						
ガソリン使用量	(ℓ/百万円)	21.45	13.40	14.30	9.85	9.92
軽油使用量	(ℓ/百万円)	141.58	136.80	125.04	127.00	121.00
電力使用量	(kWh/百万円)	28.14	26.90	25.72	12.43	17.49
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂ /百万円)	424.76	398.26	369.39	357.09	344.45
用水使用量	(m ³ /百万円)	0.15	0.10	0.11	0.10	0.10
一般廃棄物排出量	(t/百万円)	0.27	0.09	0.14	0.09	0.12
産業廃棄物排出量	(t/百万円)	2.29	2.10	1.79	1.77	1.52
産業廃棄物再資源化率	(%)	99.60	99.80	99.60	99.70	99.70
環境負荷の少ない工事	(%)	93.50	100.00	100.00	100.00	100.00



～エコアクション21～

9. 環境経営計画の取組み結果とその評価

期間： 2023年 10月 ～ 2024年 9月 1年間

項 目		活 動 内 容	評 価	見直し
CO ₂ 排出量	燃料使用量	建設機械等の自主点検整備の実施	○	省エネ型に重機は徐々に移行しており成果が出ているのでガソリン車両も今後推進していく。
削減	削減	省エネ型重機及び車両への買替え使用検討	○	
	電力使用量	保安灯の電源を太陽光ソーラーに変更していく	○	見直しは無く、今後も活動を継続する
	削減	作業をしないときはスイッチオフにする	○	
用水使用量削減		蛇口の開閉は確実に行う	○	継続する
		排水の有効活用	○	
廃棄物削減	一般廃棄物	可能な限り両面印刷の実施	○	見直しは無く、今後も活動を継続する
		現場での電池式保安灯の仕様変更	○	
	産業廃棄物	梱包材、パレット材は資材業者に返却か、省く	×	現場での資材ロスを減らすことで廃棄物削減を尚一層徹底していく
		必要以上の資材、機材を発注しない	△	
		現場責任者は現地での品質、出来形管理を密に行い、適正な資材数量と規格物を納入する	○	
環境負荷の少ない工事実施		省エネ型重機及び車両を使用する	○	全現場にて実施できるよう今後も継続していく
		環境負荷の少ない材料を使用する	○	
		型枠、工事看板への間伐材の使用	○	
地域・社会貢献活動		清掃・美観活動への積極参加	○	活動を継続していく
		交通エコ活動への継続参加	○	



～エコアクション21～



～当社の環境活動状況～

1. CO₂ 排出量削減

(1) 燃料使用量削減



重機バックホウの購入

2023年12月にバックホウ（SK55）を購入しました。
エコ運転装置、低燃費型の工事車両です。
旧型機に比較して軽油燃料使用量は大幅な削減となると思われる。

原単位比較では、2017年度（141.58ℓ/百万円）から
2023年度（121.00ℓ/百万円）に削減。



燃料削減とともに長期的視点によるリース経費削減を
推進しています。



環境にやさしい機体

超低騒音型、排出ガス対策型の機体です。

(2) 電力使用量削減



節電呼び掛け掲示

本社事務所内の壁に節電呼び掛け掲示をすることで
エアコン温度管理、不要照明オフを徹底しています。
原単位比較では、2017年度（28.14kWh/百万円）から
2023年度（17.49kWh/百万円）に削減。



～エコアクション21～

2. 廃棄物の削減

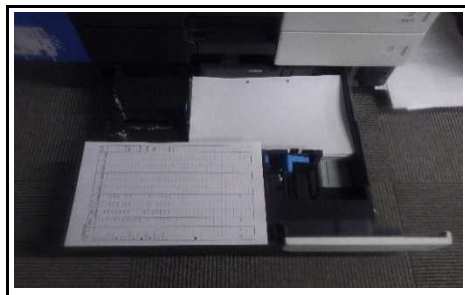
(1) 一般廃棄物の削減



不要紙ごみの分別の徹底

(分別箱設置)

本社事務所内紙ごみの分別箱を設置し、不要紙の再利用を行っています。



コピー用紙の裏紙使用、両面コピー

ミスコピー用紙は、裏紙として使用し、また両面コピーを実施することにより、紙類の廃棄ゴミが大幅に減りました。

3. 環境負荷の少ない工事実施



低騒音、排出ガス対策型発電機の使用

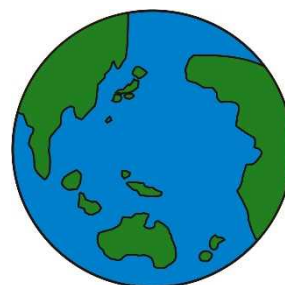
工事名称：令和5年度 萩野地区護岸・用水路改修工事

工事期間：2023年11月9日～2024年2月20日

工事場所：高知県 香美市香北町 萩野

低騒音、排出ガス対策型発電機を使用して施工しました。

工事箇所周辺の騒音低減と、排出ガス量削減に努めています。



～エコアクション21～

3. 環境負荷の少ない工事实施



緊急資材の保管

現場事務所内に緊急資材置き場を設置して想定外の油分流出が起きた際にすぐに使用出来るよう備品管理した。

油・液体吸着セラミック材（ACライト）



低騒音、排出ガス対策型重機の使用

工事名称：令和5年度 楠目地区第15号公衆用道路災害復旧工事

工事期間：2024年2月20日～2024年6月30日

工事場所：高知県 香美市土佐山田町 楠目

低騒音、排出ガス対策型重機を使用して工事を行いました。

工事箇所周辺の騒音低減と、排出ガス量削減に努めています。



環境負荷の少ない材料（リサイクル材）の使用

工事名称：令和6年度 市道遍路線路側補修工事

工事期間：2024年5月8日～2024年8月7日

工事場所：高知県 香美市土佐山田町 戸板島

工事用資材としてRC40リサイクル砕石材をコンクリート舗装の路盤材として使用し、環境負荷の低減に努めました。（再生砕石）



県内産木製型枠の使用

工事名称：令和5年度 萩野地区護岸・用水路改修工事

工事期間：2023年11月9日～2024年2月20日

工事場所：高知県 香美市香北町 萩野

コンクリート擁壁の型枠材に県内産木製型枠を使用し、環境負荷低減努めました。

4. 環境美化活動



ロードボランティア活動

香美市土佐山田町内の県道にてロードボランティア清掃活動を行いました。

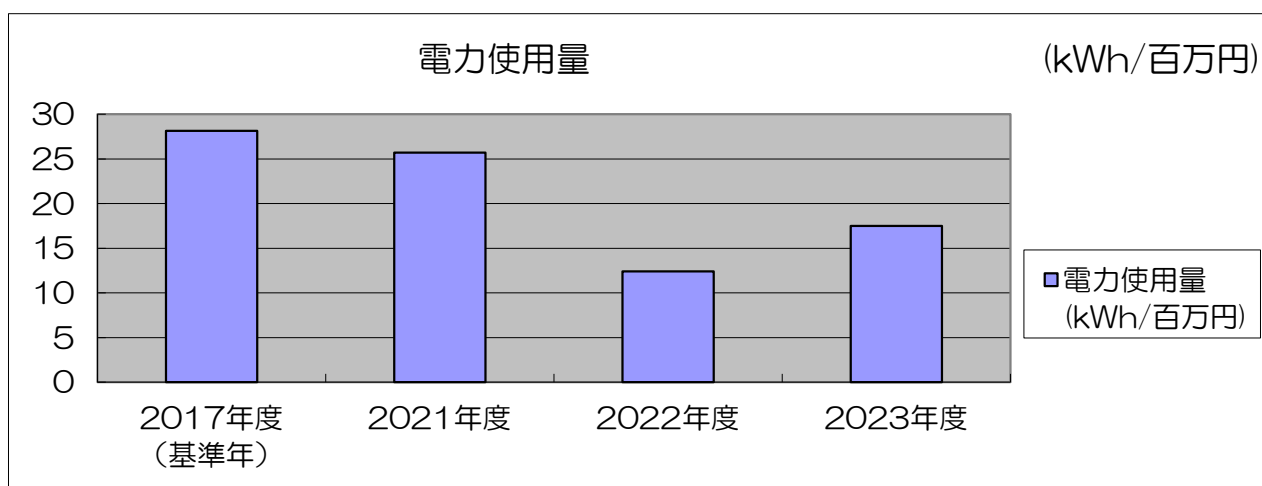
（年10回実施）

電力使用実績

2023年度目標

総 量	:	5,738 kWh
原単位（売上百万円当り）	:	25.50 kWh/百万円

項目	2017年度 (基準年)	2021年度	2022年度	2023年度
電力使用量 (kWh/百万円)	28.14	25.72	12.43	17.49



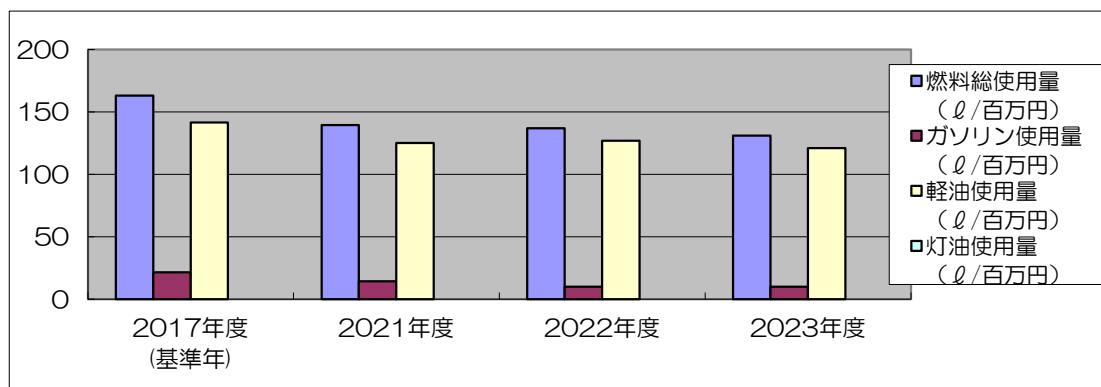
電力使用量の状況（2023年度）

2017年度（基準年）に設定した原単位目標値は達成することができた。
 昨年度より原単位数値は増加したが使用量に関しては減少しており継続できるよう努力していく。
 2023年度に関しては、現場での使用電力がなく減少になっていると思われる。

燃料使用量実績

2023年度目標			
総 量	：（全体）		30,938 ℓ
	ガソリン		2,250 ℓ
	軽油		28,688 ℓ
原単位（売上百万円当り）	：（全体）		137.50 ℓ/百万円
	ガソリン		10.00 ℓ/百万円
	軽油		127.50 ℓ/百万円

項目	2017年度 (基準年)	2021年度	2022年度	2023年度
燃料総使用量 (ℓ/百万円)	163.03	139.34	136.85	130.92
ガソリン使用量 (ℓ/百万円)	21.45	14.30	9.85	9.92
軽油使用量 (ℓ/百万円)	141.58	125.04	127.00	121.00
灯油使用量 (ℓ/百万円)	-	-	-	-



燃料使用量の状況（2023年度）

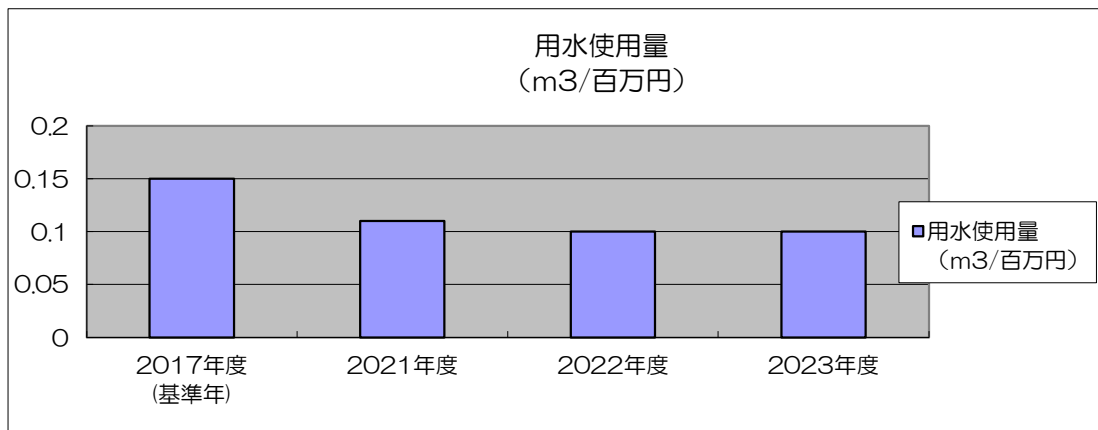
- 全体** : 基準年2017年度に比べると大幅な減少がみられ、計画目標達成している。
次年度も導入した省エネ型重機車両に期待する。
- ガソリン** : 目標値を達成。遠方の現場が少ないのも原因の一つだが、車両燃料消費が下がり燃費の悪い旧車両からの入替の効果も出てきたと思われる。
- 軽油** : 前年度より消費率は改善して良い傾向であり目標値は達成できている。
継続的に導入したダンプトラック、重機を使用して燃料削減に各自が努める。
- 灯油** : 使用なし

用水使用量実績

2023年度目標

総 量	:	22.5 m ³
原単位（売上百万円当り）	:	0.10 m ³ /百万円

項目	2017年度 (基準年)	2021年度	2022年度	2023年度
用水使用量 (m ³ /百万円)	0.15	0.11	0.10	0.10



用水使用量の状況（2023年度）

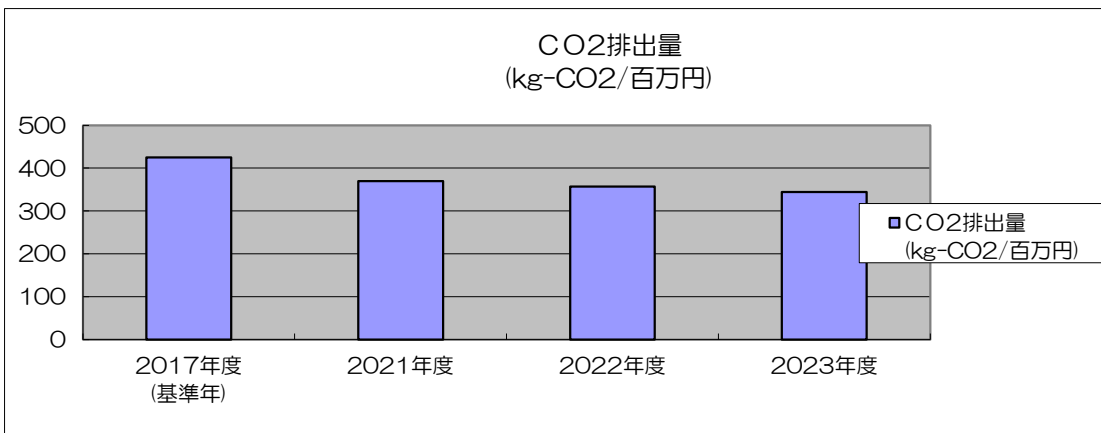
原単位の目標値と同値となっている。
 各自の心掛けと意識向上、排水の利用等々の結果が出たと思われる。
 今後も継続して活動していく。

CO₂ 排出量実績

2023年度目標

総 量	:	88,875.00 kg-CO ₂
原単位（売上百万円当り）	:	395.00 kg-CO ₂ /百万円

項目	2017年度 (基準年)	2021年度	2022年度	2023年度
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂ /百万円)	424.76	369.39	357.09	344.45



CO₂ 排出量の状況（2023年度）

基準年度と比較して大幅な削減となっており、年度目標値も満足している。
引き続き継続していく。

廃棄物排出量実績

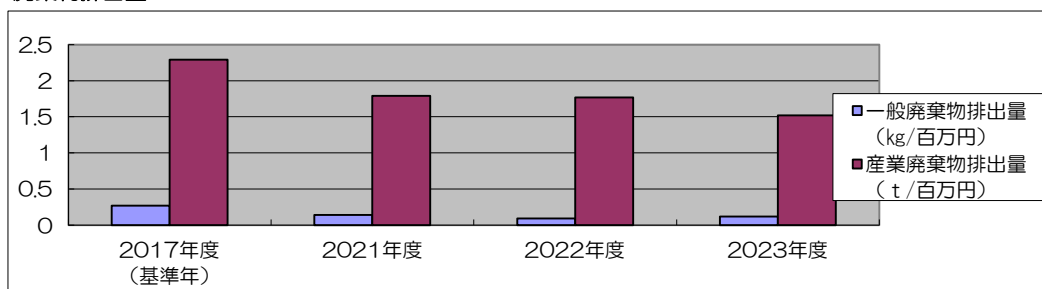
2023年度目標

総量	:	
一般廃棄物		47.25 kg
産業廃棄物		382.50 t
産業廃棄物再資源化率		99.90 %
原単位	:	
(売上百万円当り) 一般廃棄物		0.21 kg/百万円
産業廃棄物		1.70 t/百万円
産業廃棄物再資源化率		99.90 %

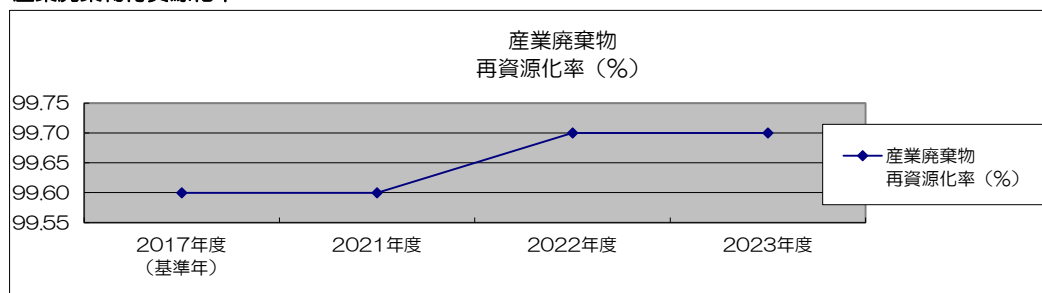
項目	2017年度 (基準年)	2021年度	2022年度	2023年度
一般廃棄物排出量 (kg/百万円)	0.27	0.14	0.09	0.12
産業廃棄物排出量 (t/百万円)	2.29	1.79	1.77	1.52

項目	2017年度 (基準年)	2021年度	2022年度	2023年度
産業廃棄物 再資源化率 (%)	99.60	99.60	99.70	99.70

廃棄物排出量



産業廃棄物再資源化率



廃棄物排出量の状況 (2023年度)

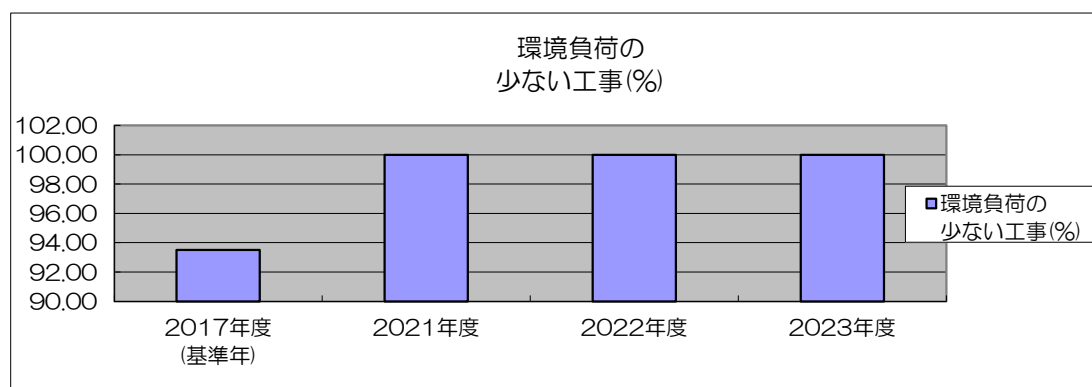
- 産業廃棄物排出量 達成。混合廃棄物の排出量削減に分別を各自に徹底していく。
- 一般廃棄物排出量 達成。これからも継続していく。
- 産業廃棄物再資源化率 未達成。現場での資材ロス、廃材ゼロを心掛け活動していく。

環境負荷の少ない工事实績

2023年度目標

環境負荷の少ない工事（％）： 100.00 ％

項目	2017年度 (基準年)	2021年度	2022年度	2023年度
環境負荷の 少ない工事(%)	93.50	100.00	100.00	100.00



環境負荷の少ない工事実施状況（2023年度）

設定した原単位目標値を達成することができた。
100%を継続していけるよう、尚一層の努力をしてゆく。

10. 次年度の取組（次年度の環境経営目標）

（2024年度） 2024年10月～2025年9月
 ＜原単位目標＞

（1）単年度目標

項目	単位	2017年度 実績（基準年） 2017.10～2018.9	2024年度 目標 2024.10～2025.9
燃料(ガソリン)使用量	ℓ/百万円	21.45	10.00
燃料(軽油)使用量	ℓ/百万円	141.58	125.00
電力使用量	kWh/百万円	28.14	25.00
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /百万円	424.76	390.00
用水使用量	m ³ /百万円	0.15	0.10
一般廃棄物排出量	kg/百万円	0.27	0.20
産業廃棄物排出量	t/百万円	2.29	1.60
産業廃棄物再資源化率	%	99.60	99.70
環境負荷の少ない 工事件数	%	93.50 29/31件	100.00

＊1. 購入電力におけるCO₂排出係数は平成29年12月21日公表の四国電力の
 調整後排出係数0.529kg-CO₂/kWhを使用した

＊2. 環境負荷の少ない工事件数

- 環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用
- 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- 型枠、工事看板への間伐材の使用

＊3. 化学物質（PRTR対象物質）について

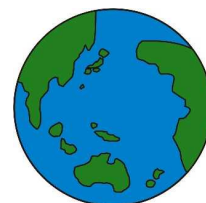
○当社では使用がない為、目標設定はしていません。

（2）中長期目標

項目	単位	2017年度 実績（基準年） 2017.10～2018.9	2024年度 目標 2024.10～2025.9	2025年度 目標 2025.10～2026.9	2026年度 目標 2026.10～2027.9	2027年度 目標 2027.10～2028.9
燃料(ガソリン)使用量	ℓ/百万円	21.45	10.00	10.00	10.00	10.00
燃料(軽油)使用量	ℓ/百万円	141.58	125.00	122.50	120.00	117.50
電力使用量	kWh/百万円	28.14	25.00	24.50	24.00	23.50
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /百万円	424.76	390.00	385.00	380.00	375.00
用水使用量	m ³ /百万円	0.15	0.10	0.10	0.10	0.10
一般廃棄物排出量	kg/百万円	0.27	0.20	0.19	0.18	0.17
産業廃棄物排出量	t/百万円	2.29	1.60	1.50	1.40	1.30
産業廃棄物再資源化率	%	99.60	99.70	99.70	99.70	99.70
環境負荷の少ない 工事件数	%	93.50 29/31件	100.00	100.00	100.00	100.00



～エコアクション21～



10. 次年度の取組（次年度の環境経営計画）

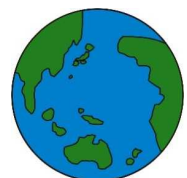
（2024年度）

期間： 2024年 10月 ～ 2025年 9月 1年間

項目		活動内容	担当者	期限
CO ₂ 排出量	燃料使用量	建設機械等の自主点検整備の実施	現場責任者	2025年9月30日
削減	削減	現場での始業前に異常の有無確認	現場責任者	2025年9月30日
		現場への相乗り移動	現場責任者	2025年9月30日
		電力使用量	保安灯の電源を太陽光ソーラーに変更していく	環境事務局
	削減	作業をしないときはスイッチオフにする	使用者	2025年9月30日
		人感センサー照明の設置検討	環境事務局	2025年9月30日
用水使用量削減		蛇口の開閉は確実に行う	使用者	2025年9月30日
		排水の有効活用	使用者	2025年9月30日
廃棄物削減	一般廃棄物	可能な限り両面印刷の実施	環境事務局	2025年9月30日
		現場での電池式保安灯の仕様変更	環境事務局	2025年9月30日
	産業廃棄物	梱包材、パレット材は資材業者に返却か、省く	現場責任者	2025年9月30日
		必要以上の資材、機材を発注しない	現場責任者	2025年9月30日
		現場責任者は現地での品質、出来形管理を密に行い、適正な資材数量と規格物を納入する	現場責任者	2025年9月30日
環境負荷の少ない工事実施		省エネ型重機及び車両を使用する	現場責任者	2025年9月30日
		環境負荷の少ない材料を使用する	現場責任者	2025年9月30日
		型枠、工事看板への間伐材の使用	現場責任者	2025年9月30日
地域・社会貢献活動		清掃・美観活動への積極参加	環境事務局	2025年9月30日
		交通エコ活動への継続参加	環境事務局	2025年9月30日



～エコアクション21～



11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

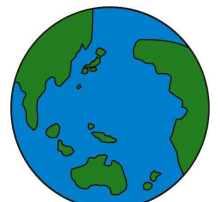
法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	○事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	沼 達彦	○	2024年9月30日
	第12条	○産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	福永美貴	○	2024年9月30日
	第12条の10、11項	○多量排出事業者（年間1,000t以上） の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	福永美貴	○	2024年9月30日
	第12条の三	○産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	現場責任者	○	2024年9月30日
	第12条の三7項	○マニフェスト交付状況報告書の作成及び 都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	福永美貴	○	2024年9月30日
	規則第8条	保管場所の表示 見やすい箇所に掲示板を設置（縦横60cm以上）	必要時	沼達彦	○	2024年9月30日
資源の有効な利用の促進に関する法律 （リサイクル法）	第4条	○土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	現場責任者	○	2024年9月30日
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び 建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	現場責任者	○	2024年9月30日
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m ² 以上 新築・増築：床面積500m ² 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時	現場責任者	○	2024年9月30日
騒音規制法	第5条 第6条	○騒音規制基準の遵守（特定工場等） ○特定施設の設置届 （特定施設設置工事開始30日前までに市町村長に届出）	必要時 設置工事開始時	現場責任者	○	2024年9月30日
	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時			
振動規制法	第5条 第6条	○振動規制基準の遵守（特定工場等） ○特定施設の設置届 （特定施設設置工事開始30日前までに市町村長に届出）	必要時 設置工事開始時	現場責任者	○	2024年9月30日
	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時			
浄化槽法	第10条 第11条	○年1回の浄化槽の保守点検、清掃実施 ○年1回の水質検査実施	年1回	福永美貴	○	2024年9月30日
大気汚染防止法 （解体工事）	第18条 の17	解体等工事受注者は、石綿使用の有無について事前に調査し、発注者へ調査結果を書面で説明するとともにその結果等を解体等工事場所へ掲示	必要時	現場責任者	○	2024年9月30日
フロン排出抑制法	第16条 ～第26条	○第一種特定製品の管理者が講ずべき措置 ○点検整備を行い、記録保存する	3ヶ月毎	現場責任者	○	2024年9月30日
水質汚濁防止法	第14条の四	○事業者の責務 公共用水域又は地下水の水質汚濁防止のための必要な措置の実施	必要時	現場責任者	○	2024年9月30日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	沼 達彦	○	2024年9月30日
高知県清流保全条例	第2条	○事業者の清流保全の努力	必要時	沼 達彦	○	2024年9月30日

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2023年10月1日より2024年9月30日までの間、環境関連法規等の違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。



～エコアクション21～



12. 代表者による全体評価と見直しの結果

■定期見直し
□臨時見直し

実施年月日 2024年12月20日

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】				【環境経営方針】	
①環境関連法規制等の遵守状況 環境関連法規等に関する違反・訴訟なし。				変更の必要性： □有 ■無	
②問題点の是正処置及び予防処置の状況 特になし。				特に修正、変更の必要性はないので、引き続き環境 負荷の低減に努めるとともに、社会貢献活動にも 積極参加すること。 水使用に関しては節水等の活動、意識が出来ており結果も継続 して、でている。	
③前回までの代表者の指示事項への対応 混合廃棄物量を削減していくという目標に対しては成果が出たと 思われるが、再資源率が悪い為に資材ロス、廃材ゼロを現場から 徹底していく。					
<改善提案> 現場責任者だけでなく現場に携わる皆が同じ気持ちで廃材ゼロを 目標に行動していくこと。				【環境経営目標・環境経営計画・環境管理実施体制】	
				変更の必要性： ■有 □無	
【目標・環境経営計画の達成状況】				使用電力の削減、廃棄電池の削減を目的に現場での太陽光ソーラー 電源保安灯に仕様変更、人感センサー照明等今後も継続していく。 混合廃棄物処理量を少なくする為、現場で廃棄物減少に繋がる ように見直したことを再度実施行動していく。 再資源化率に限り、過去の実績を考慮して達成可能な現実的目標を 設定して努力していくこと。 環境管理実施体制については、変更の必要はなし。	
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)		
CO ₂ 削減	○	○	目標値達成し、活動も良好。		
廃棄物削減	○	○	廃棄物は減少傾向にあり活動を継続。		
廃棄物再資源化率	×	×	資材ロス、梱包パレット等の廃材ゼロを目標		
節水	○	○	目標値達成し、活動も良好。		
環境配慮工事	○	○	全工事を目標に活動できたので今後も継続。		
地域社会貢献	○	○	目標値達成し、活動も良好。		
				【その他】	
				変更の必要性： □有 ■無	
<改善提案>				特になし。	
【周囲の変化の状況】				【総括】 (環境経営レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載)	
①外部コミュニケーション記録より 外部より苦情なし。				引き続き全従業員の環境意識を常に心掛け、環境負荷低減に 努めること。 環境経営システムは有効に機能している。	
②環境関連法規制等の動向他 特になし。					
<改善提案>					
代表者が自ら得た情報					
2024年度も公共工事、民間工事を問わず利益率の良い工事の選択を行う。 場所、工事内容を確認して積極的に受注してゆく。					

13. その他の取組み

1. 自然保護団体への支援

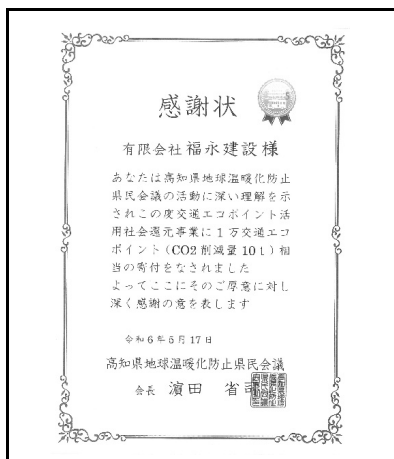
支援団体	支援内容	支援年
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2020年
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2021年
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2022年
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2023年
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2024年

2. 環境イベント支援

支援イベント名	実施年月
香美市清掃活動	2009年～2024年 毎年6月

3. 環境表彰

表彰名	受賞年月
交通エコポイント活用社会還元事業表彰	2024年



高知県地球温暖化防止部会長表彰受賞

(2024年 5月受賞)

高知県地球温暖化防止県民会議

より、当社の環境活動について
部会長表彰をいただきました。



～エコアクション21～

